

# 会 議 録

## 1 会議名

令和4年度第13回板倉区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### ○報告事項

- ・意見書に対する回答について（公開）

### ○協議事項

- ・地域活動支援事業報告会について（公開）
- ・自主的審議の進め方について（公開）

## 3 開催日時

令和5年1月20日（金）午後6時00分から午後7時20分まで

## 4 開催場所

板倉コミュニティプラザ 201・202会議室

## 5 傍聴人の数

2人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・委 員：平井達夫（会長）、古川政繁（副会長）、小林政弘、植木節子、  
山本茂、下鳥治、田中睦夫、秋山秀夫、吉田重夫、長藤豊（3人欠席）
- ・事務局：板倉区総合事務所 古澤所長、一薫次長、米川次長、関根産業グループ長、市村市民生活・福祉グループ長兼教育・文化グループ長、大堀建設グループ長、佐藤総務班長、小池地域振興班長、橋詰主査、金井主任（以下グループ長はG長と表記）

## 8 発言の内容（要旨）

### 【米川次長】

- ・会議の開会を宣言

### 【平井会長】

- ・挨拶

【古澤総合事務所長】

- ・挨拶

【平井会長】

- ・条例第8条2項の規定により、半数以上の委員の出席を確認。会議の成立を報告。
- ・会議録の確認を秋山委員に依頼。

4 報告事項 意見書に対する回答について事務局からの説明を求める。

【小池地域振興班長】

- ・資料1に基づき説明

【古澤総合事務所長】

補足説明をさせていただく。令和5年度予算については、今予算査定を行っている最中である。この予算の公表は3月定例会である。そういった中で、今日、予算化できますということは言えないということをご理解いただきたい。ただ、私たちとしては令和5年度に入ったら早急に工事に着手して、6月に計画されているイベントに間に合うかたちで工事を進めるべく作業をしている。はっきりと予算化しますと言えない状況だが、ご理解いただき、早急に漏水工事を計画していることをご理解いただきたい。

【小池地域振興班長】

先ほどの説明の補足であるが、同様の漏水修繕の要望書が筒方地区連絡協議会から市に提出されている。これについても回答書は同様の文面にて、連絡協議会へ回答している。

【平井会長】

質問、意見のある方の挙手を求める。

【小林委員】

所長の説明で理解はできるが、私どもは意見書というかたちでお願いしたのは、漏水修繕を早急に実施して欲しいということであるが、この文面を見ると至極当然な考え方の内容であり、具体的な展開、もう少し前向きな回答を地元に対してすべきではないかと個人的には思う。これで地域協議会としては、前向きな意見ということとして、納得できる内容としてとらえていいのか。地元の長藤委

員はどう思うか。

**【長藤委員】**

私もこれを読んだときに、小林委員と同じ感想を持ったが、今ほど所長が令和5年度に入ったらすぐに進めていくということをおっしゃられていたので、それを期待したいと思う。確かに意見書に対する回答としては、小林委員が仰られたように少しもの足りないという気がしていて、予算がついていないからということで、はっきり書けないということも分かるが、その中でも考慮することを匂わせる文面を入れていただいた方がいいと思う。

それからもう一つ気にしている点で、この工事がどれくらいの金額になるか分からないが、前に板倉区総合事務所の独自の予算というのがある、すぐに対応しなければいけないものに対応できる、本庁へお伺いを立てなくてもできる予算があると聞いたが、その中で対応できるものであればやっていただきたいと思う。

**【古澤総合事務所長】**

確かに文面だけ見ると、はっきりしていないということは私も十分に承知している。ただ、先ほどもお話ししたとおり、予算の裏付けが今の段階では確定していないので、適切な維持管理に努めていきますというところでお話しさせていただいた。地元の皆さんについても、口頭で早急に対応させていただきたいと伝えられているので、ご理解いただいているものと考えている。

長藤委員からの各区の所長権限の予算の件だが、それが令和4年度は90万円である。そうすると、見積額はそれよりも高いので、それでは対応できない。今年、所長権限で旧筒方小学校入口の止水栓を設置し、止水している状況である。この予算が可決されたことを想定し、早急に着手できるように進めていきたい。

**【平井会長】**

他にないか。

(意見、質問なし。)

その他については以上とする。

次に、5 協議事項 地域活動支援事業報告会について事務局からの説明を求める。

**【小池地域振興班長】**

・資料2に基づき説明。

**【平井会長】**

質問、意見のある方の挙手を求める。

**【下鳥委員】**

先ほどの平井会長の年頭の挨拶にもあったが、今年度で地域活動支援事業は廃止ということだが、その件についてこの報告会という機会をどのように皆さんに分かってもらえるのか、おそらく今後どのような流れになるかというのを期待して来られる方が多いのではないかと思うので、その周知について教えていただきたい。

**【小池地域振興班長】**

地域活動支援事業の報告会は、毎年であれば次年度の提案の募集等の説明の機会であったと思う。下鳥委員の意見のとおり来年度から地域独自の予算ということであれば、皆さんにお示しできるのはA3の両面のカラー刷りの地域独自の予算のパンフレットであるが、こちらについて説明の機会を持ってもいいと思う。市民の皆さんがどれだけ来られるかは分からないが、ご理解されていない方もいらっしゃると思うので、今説明できる内容で説明時間を設けさせていただけるか。

**【平井会長】**

小池班長から説明があったが、今度新しく地域独自の予算となるが、その説明を今回の報告会で説明してもらった方がいいか。

(挙手多数)

では事務局そのようにお願いしたい。

**【小池地域振興班長】**

お手元の資料では、各団体に報告していただき閉会という流れになっているが、報告が終わった後、5分くらいで制度が変わったという説明をさせていただきたい。

**【田中委員】**

今年度は地域活動支援事業の最後の年で10団体すべてを呼ぶのはいいが、私

昨年初めて中郷区の会議に参加させてもらったが、中郷区は例年どおりの報告会だったが、3団体代表の報告をされていた。ありきたりな報告ではなく、取り組んでいる中身とか、そのことについて、時間を取っていた。今年度で最後になったが、そういった報告もただだと報告だけで終わるのではなく、いいところは取り入れていくべきと私は思っていた。

今年度最後になったので10団体から報告してもらうのも結構だが、地域独自の予算についても、来年度以降の取り組みとか団体が決まるわけだが、各地区の取り組み等も事務局が把握していると思うので、そういうようなところの代表例等をこういうところで教えていただくと、改善点が見つかるかなと思う。

今後も地域協議会として取り組む中身を参考までに、地域活動支援事業だけではないが、各所の取り組み、意見交換会といっても、4地区の意見交換会は会長の報告等で終わっているので、来年度は板倉区が会場ということだが、交流の中身も検討しながらやるべきとは思いますが、ぜひ他の取り組みについても知る機会を作ってもらいたい。書面でもいいので、今後できる範囲でお願いしたい。

#### 【小池地域振興班長】

地域独自の予算が各区でどのようなものが出ているかということについては事務局で情報は把握しているが、公表できるものがない。次年度に向けて、参考になるような勉強会を作っていきたいと考えている。報告会は各団体3分という短い時間であるが、今までこういうやり方だったということで、もし皆さんの方で代表の団体だけ時間を取って発表した方がいいとかそういったことであれば変更は可能である。主催は地域協議会なので皆さんで議論して欲しい。

#### 【平井会長】

説明3分、質疑応答2分という1つの団体のスケジュールとなっているが、これに対し意見はあるか。

時間に関しては今までのやり方を踏襲しているということで、これでいいかということである。

#### 【吉田委員】

今回の報告会の中で、来年度の地域独自の予算について説明するというのであれば、できるだけ大勢の方に来てもらいその話を聞いてもらった方がいいので

はないか。なので、案のとおりでいいと思う。

**【平井会長】**

案のとおりでよいとの意見であるが、その他意見はあるか。

意見がない場合は決を採る。

原案のとおりでよいと考える方は挙手をお願いする。

(全員挙手)

原案のとおりとする。

次に、自主的審議の進め方について事務局からの説明を求める。

**【小池地域振興班長】**

- ・資料3に基づき説明。

自主的審議については、全体で審議するテーマが2つある。先日、会長、副会長と事務局で協議し改めて「板倉区の未来を拓く観光について」を優先的に審議していくとなった。これまでの審議の中で委員から出た意見を振り返り、今後共通認識を持ちながらどう審議を進めていったらよいかを考えるため、資料3をまとめた。

今後の進め方として、地域協議会として課題解決のための方策を考えたとき、それをどう実現するかということを考えていただきたい。全体で話してみたが、一人一人テーマに対する認識にバラつきがあるように感じた。そこで、小グループで一度話したらどうか。次回の会議を2月16日に予定したいと考えているが、それまでに3部会に分かれて、この資料を元に一度話し合いをしていただき、全体会で発表してもらうのはどうかと考えている。本日は今後の話し合いの進め方について、再度検討していただきたい。

**【平井会長】**

質問、意見のある方の挙手を求める。

**【下鳥委員】**

この資料3については、私は心臓がドキドキするほど素晴らしいと思った。2点ほどお願いがある。1点目、私たちがずっとやってきた、こんな風にしたらいいのではないかと、あんな風にしたらいいのではないかとというのがここに上がってきているものと思う。今後、例えば何かした方がいいのではないかとという提案を

したときに、どのように市として取り上げてもらえるのか。そこにはどうしても資金面だとか、そういったものが影響されてくると思う。いつもそこで頓挫しているのが現状ではないかと思う。それを教えてもらいたい。

もう一点は、一番最初に光ヶ原高原、やすらぎ荘と出ている。そしてこの中で一番多い文字は、ゑしんの里観光公社であるが、観光公社とやすらぎ荘が分離をして別々の道を歩んでいきたいと小耳に挟んだ。では観光公社はどうするのか、あるいはやすらぎ荘は今後どのような展開になっていくのか、分かる範囲でいいので教えてもらいたい。

#### 【小池地域振興班長】

資金の問題の話であるが、これから地域協議会で審議していくことは、このテーマについてどう実現していくかということなので、まず誰がというところと、何をするかというところだと思う。地域独自の予算もこれから始まる。この制度は地域協議会として提案してもいいとなっている。観光公社、振興会などいろいろな団体があるが、これをどう連携して進めていくか、いろいろな課題がたくさん出てきている状況なので、資金をどうするかというのは一言では答えられないと思うので、市の補助金を活用するのか、他の財源があるのか、まず誰が何をやるのかの次の話であるので、はっきり答えることは出来ない。

#### 【古澤総合事務所長】

組織の関係と、小池班長が説明したことを補足したい。

ここで議論していただいて、各団体へ提言するというかたちもありだと思う。事務所としては、昨年、観光公社とまちづくり振興会との連携という話もさせてもらったが、令和5年に理事が代わるということも聞いているが、今の段階で事務所として中に入って、各団体をつなげていくような取り組みをしたいと考えている。その中に地域協議会の皆さんからも、ご意見をいただきながら、まだどういったかたちがいいかはっきりと青写真は出来ていないが、そこで意見交換ができるといったような議論をしていきたい。

やすらぎ荘については、Jーホールディングスの傘下になっていて、今年度をもってJーホールディングスの傘下の4つの会社が1つになるというところで、やすらぎ荘、大潟、柿崎、吉川の施設が1つの会社としてJーホールディングス

が運営していくということで、そこの連携については観光公社においてもはっきりとしていないというのが現状である。

J-ホールディングスの社長の話では、今までどおり地域の皆さんと連携してやっていきたいということを強くおっしゃっていたので、私たちとしても地域の皆さんと、地域の皆さんのとりまとめを行っているやすらぎ荘ファンクラブの皆さんと意見交換しながら、またJ-ホールディングスと意見交換しながら連携していきたいと思うし、私としては令和5年度に組織間の連携ということを一歩踏み出すような取り組みにしたいと強く思っている。

#### 【小林委員】

小グループで討議することはいいと思う。全体会議でやってもまとまらないと思うのでこれはこれでいいと思うが、目的は永続的に観光振興を図るにはどうするべきかというところを考えていくことだと思うので、もう少し、例えば今組織の話が出たが、組織になれば人、企画力が備わっていなければいけないが、もう少しグループごとに話し合うポイントを絞った方がいいのではないかな。例えば、組織でどうあるべきか、あるいはイベントはこういうのに絞って集客力に結び付けた方がいいのではないかなとか、ただ集まって意見を出し合ってもなかなか意見がまとまらないかもしれないので、できれば事務局の方で3つか4つに絞ってもらっていただければ話もしやすいと思うので、時間的にも1か月しかないのに、ただ途中経過で2月16日の次回の会議の中でいいのかというのもあるので、地域協議会として前向きな提言ができればいいと思うので、事務局で具体的にテーマを絞ってもらいたい。

#### 【小池地域振興班長】

今考えているやり方は、この資料の②の組織の問題と、具体策というところの項目についての深掘りをしてもらおうと考えていた。これをまた、3つか4つということであると、これでも絞ったつもりでいるので、次の地域協議会までに結論を求めるのではなく、組織の問題と具体策の問題について話してもらおうと思っていた。皆さんの方でいい案があれば出していただきたい。

#### 【平井会長】

他に意見はあるか。



事務局から話があったが、組織と具体策についてとりあえず議論をしてもらいたいということである。小林委員はもう少し絞り込んでもらいたいと。

まず、これで進めてみて、次の段階ということで、2ステップという方法もあると思う。どのようなものか。

**【植木委員】**

私は資料の具体策についてはそんなに悪いことが書いていないと思う。私達はなにをすればいいのか。具体策はとてもいいことが書いてあるので、これを深掘りとなると、私達はこれの専門職ではないし、申し訳ないが地域協議会に何を求めているか分からない。具体的に教えてもらいたい。

**【古澤総合事務所長】**

私の考えだが、こういった具体策について議論することが大事だと思うので、あくまで事務局が作った資料なので、このほかにも具体策はあると思う。例えば、具体的に情報発信をどういうようにやったらいいかということをお皆さんで話し合ってもらって、この場所がいいとかあの場所がいいとかそういったこと出してもらったり、観光によって人が板倉に来ていただいて、お金を落としてもらおう。そうすると、商工会と連携してどういった流れを作っていくとか、そういったことをこの具体策の中でもっと踏み込んで話をしてもらいたいと思っている。地域協議会は地域の課題を議論する場だと思っているので、それについて話し合いをしていきたいと思う。

あまり固く考えるのではなく、いろいろな意見交換をするというイメージでアイデアを出していただけるとありがたい。

**【小林委員】**

具体策の中に、観光資源や地域資源をどう生かすべきかとかそういった方がいいのではないか。具体的な話をしていくと、皆さん素晴らしい意見ばかりだが言いつぱなしで終わりになる。そうすると時間の無駄になるのでその辺を先ほど言ったようにテーマを絞った方がいいのではないかと思う。

**【小池地域振興班長】**

小林委員が、観光資源や地域資源をどう生かすかというテーマで話し合った方がいいのではないかという事であれば、そのテーマでもいいと思う。そこは皆さ

んで話し合ってもらいたい。

**【平井会長】**

資料にいろいろ書かれているが、皆さんの方でいろいろ考えていただくのも結構であるし、ご理解いただき、まず1回目は各部会で話し合ってもらって、何か意見がでてきたら、また次に話し合いたい。まずは話し合ってみないと何も出てこない。それでよろしいか。

(異議なし)

それでは、まずは1回目はそのようにしたいと思う。資料3について部会で話し合ってもらいたい。各部会長は2月10日ごろまでに部会を開いていただき、事務局も立ち会ってもらいたい。2月16日の地域協議会で各部会で発表してもらおう。1回で終わればよいが、そうはいかないと思う。また次というように仕上げていく。各部会長は大変だがよろしくお願ひしたい。地域振興部会は3人ということであるが、事務局から話があったとおり、とりあえず3人で進めていただきたい。

次に、その他、事務局からの説明を求める。

**【小池地域振興班長】**

- ・1月22日開催の板倉区賀詞交歓会について説明。委員の出席を求める。

**【平井会長】**

- ・次回会議日程について確認。

他にないか。

**【長藤委員】**

- ・光ヶ原高原の蕎麦や小麦の作付の状況、及び石油企画展の予定について情報提供。

**【平井会長】**

他にないか。

(意見、質問なし。)

その他については以上とする。

**【古川副会長】**

- ・挨拶

【米川次長】

以上で、第13回板倉区地域協議会を終了する。

9 問合せ先

板倉区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL：0255-78-2141（内線123）

MAIL：[itakura-ku@city.joetsu.lg.jp](mailto:itakura-ku@city.joetsu.lg.jp)

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。